

# 平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	豊かな資源を生かした産業が根づくまちづくり	分野(章)番号	5
政策名(項)	地域資源を生かした内発型産業の育成	政策(項)番号	II
施策名(目)	農林業の6次産業化の推進	施策(目)番号	②
担当課	商工観光課(関係課 農林課)	担当課長	大槻 正儀

## 1. 施策の基本方針

施策目的	・内発型産業を創り育てることを目指して、農商工連携や農産物直売所の利用などを推進して、地域資源を生かした新しい特産物の開発や販売の促進を図ることを目的とする。
------	---

## 2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規作物の導入や新たな農産物加工品の開発が求められている。また、新規作物の導入や新たな農産物加工品の開発に対する支援も求められている。</li> <li>・高付加価値農業を展開するための6次産業化や農商工連携の推進が求められている。</li> <li>・農産物加工に係る施設整備等に対する支援が求められている。</li> <li>・特産品の販路拡大が求められている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農畜産物価格の低迷の中、国・県では、付加価値の高い農業を展開するため、地域資源を活用した6次産業化や農商工連携を推進している。</li> <li>・東京電力福島第一原発の事故の影響による風評被害で、大きく取り込んだ農産物加工品をはじめとした地場産品の売り上げや観光交流人口は徐々に回復してきている。</li> </ul>						

  

施策指標(成果指標)	指標の内容		達成度(上段:目標 下段:実績)					H27目標	備考(他団体状況含む)
			H23	H24	H25	H26	H27		
主要	まるもりお宝便販売実績	目標			1,300千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	丸森町観光物産振興公社
		実績	518千円	564千円	518千円				
		達成率			40%				
	参考① 特産品開発数等	目標			10件	10件	10件	10件	
		実績	3件	1件	3件				
		達成率			30%				
	参考②	目標							
		実績							
		達成率							
	参考③	目標							
		実績							
		達成率							
参考④	目標								
	実績								
	達成率								

## 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
<b>事業費</b>		12,510千円	8,787千円	11,233千円	9,744千円	11,107千円	13,807千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	20千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	416千円	473千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源		12,510千円	8,159千円	10,633千円	9,744千円	11,107千円	13,807千円
従事者数	正職員	0.95人/年	0.89人/年	0.73人/年	0.79人/年	0.65人/年	0.65人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	6,396千円	6,486千円	5,429千円	5,363千円	4,412千円	4,412千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		824千円	832千円	664千円	719千円	590千円	590千円
トータルコスト		19,730千円	15,470千円	16,660千円	15,826千円	16,109千円	18,809千円

#### 4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	c	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・まるもりお宝便販売実績は、平成23年度518千円、平成24年度564千円、平成25年度518千円となっており、横ばい傾向が続いている。目標に対して40%の実績なので、成果の達成度はやや低い。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・消費者ニーズにあった新商品の開発や「まるもり水とみどりの百貨店」のホームページによる特産品やお宝便の情報発信など広く宣伝を展開することによって、施策成果の向上が期待できる。
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・地域資源を活用した内発型産業の育成という目的を果たし、特産物等の販売実績が増えることによって農家所得の向上が見込めるので、貢献度はやや高い。	

#### 5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>放射能事故による風評被害で、落ち込んだ農産物加工品等の売り上げや観光交流人口は回復基調にあるが、風評被害の影響はまだあることから、引き続き風評被害の解消に努める必要がある。</li> <li>農林業従事者の高齢化が進み、後継者が不足しているので、後継者の確保が必要である。</li> <li>農産物加工品の開発や農産物加工に係る施設整備、さらには販売促進等に対する支援策が必要である。</li> <li>特産品の柿ワインが製造業者の都合により生産できなくなったことから、新たな町の特産品の開発が必要である。</li> </ul>
----	---

#### 6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>農産物加工品の開発や農産物加工に係る施設整備、さらには販売促進等に対する支援策を引き続き検討する。</li> <li>また、風評被害を払しょくするため、観光イベントや地場産品販売イベントに直売所関係者などが多く参加できるよう支援したい。</li> </ul>
------	------------------------	---------	--

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。  
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。